

平成 24 年 5 月 23 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番 18 号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 伊佐 幸夫
 (コード番号: 8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 博之
 問合せ先 取締役管理本部長 平山 順一
 TEL : 03-6422-0530

2012 年 4 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2012 年 4 月度におけるホテルの運営状況につき、月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		4月度	対前年同月 増減(注7)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	76.1%	14.8%	72.2%	6.1%
	ADR (円)	13,529	-610	12,868	-221
	RevPAR (円)	10,302	1,626	9,296	638
	売上高 (百万円)	448	9	1,672	58
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	83.7%	65.8%	92.5%	32.7%
	ADR (円)	17,288	4,878	15,861	2,327
	RevPAR (円)	14,463	12,245	14,675	6,579
	売上高 (百万円)	509	299	2,124	679
なんばオリエンタルホテル	稼働率	92.0%	2.1%	83.9%	0.4%
	ADR (円)	10,276	-304	9,668	-452
	RevPAR (円)	9,449	-53	8,108	-336
	売上高 (百万円)	157	-3	594	-20
ホテル日航アリビラ	稼働率	74.3%	9.1%	72.1%	5.4%
	ADR (円)	20,061	16	18,284	458
	RevPAR (円)	14,901	1,831	13,187	1,285
	売上高 (百万円)	376	44	1,367	140
オリエンタルホテル広島	稼働率	70.2%	17.2%	66.1%	8.1%
	ADR (円)	8,189	-408	8,002	-563
	RevPAR (円)	5,752	1,191	5,293	321
	売上高 (百万円)	186	32	673	79
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,677	380	6,430	937

ホテル／項目		4月度	対前月増減 (注10)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
イビス東京新宿(※)	稼働率	89.1%	-0.5%		
	ADR (円)	9,226	250		
	RevPAR (円)	8,220	179		
	売上高 (百万円)	55	0		

※イビス東京新宿の売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。また、前賃借人から営業数値について開示の承諾を得られなかったため、対前年同月増減、累計並びに対前年累計増減はございません。

4月度の実績に関するジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前年は東日本大震災（以下「震災」といいます）の影響があったこと、及び本年はレジャー客を中心とした国内需要の取り込みにより稼働率が増加したため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、一般宴会件数は前年同月を上回ったものの、婚礼件数が前年同月を下回ったため、部門全体の売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約9百万円上回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイについて

前年は震災に伴い東京ディズニーリゾートが休園していたため、宿泊・料飲両部門の売上は前年同月を上回り、ホテルの総売上は前年同月を約299百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前年に発生した震災に伴う退避需要の剥落分を補うため、本年はレジャー客及び外国人客の集客を図り、結果として、稼働率は前年同月を上回ったものの、ADRが前年同月を下回ったため、売上は前年同月を下回りました。また、テナント部門では、一部テナントの賃料が減少したため、ホテルの総売上は前年同月を約3百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、前年は震災の影響があったこと、及び本年はレジャー需要が回復したことにより、稼働率が前年同月を上回り、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、レストラン売上が宿泊稼働率の上昇に伴い前年同月を上回り、婚礼売上も件数の増加により前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約44百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、前年は震災の影響があったこと、及び本年は集客チャネルの拡充によりレジャー客を中心に集客を図ったことにより、稼働率が前年同月を上回ったため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、一般宴会及び婚礼件数が前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約32百万円上回りました。

イビス東京新宿について

宿泊部門では、オペレーターの自社予約サイトを中心に外国人レジャー客の集客を図った結果、一室当たり宿泊客数が増加し、ADRは前月を上回ることができましたが、稼働率が低下したため、前月並みのホテル総売上にとどまりました。

注 1) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する有価証券報告書に記載さ

れる6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

- 注 3) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- 注 4) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。なお、イビス東京新宿はサービス料はありません。
- 注 5) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 6) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは期首（1月）から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、期首（1月）から当該月までの累計値と前年同期首から前年該月までの累計値との増減を記載しています。
- 注 10) 対前月増減とは当該月と前月との増減を記載しています。

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.co.jp>